

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |   |   |  |            |            |
|----------|------|---|---|--|------------|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標  | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 | 目標達成状況(任意) |
| 1        | 2    | コロナ禍が長引いており、なじみの祭りや行事が中止になっている。これからも感染拡大が予想されるが、収束後に向けての準備が必要。        | コロナ収束後は、ご利用者がリフレッシュでき喜んでいただけるような行事や地域の祭りに参加できる。 | 年間行事の作成。地域の行事の把握。コロナ収束後すぐに動けるように職員同士で話し合いを重ねる。                           | 3 か月       |            |
| 2        | 4    | コロナ禍で開催できておらず、書面での開催を続けている。事業所での開催が実現できた日には、今まで以上に充実した運営推進会議ができるかが課題。 | コロナ収束後は、今まで以上の運営推進会議が開催できる。                     | 開催場所を事業所ではなく公民館を借りて実施していく。密集せず人を集められる。今までの会議メンバー以外にも参加者を検討して充実した会議にしていく。 | 3 か月       |            |
| 3        | 37   | 消防署の立会いの下に避難訓練の実施ができなかった。コロナ禍とはいえ、消防署に依頼することはできた。                     | 今年の年2回の消防訓練は消防署立会いの下確実に実施する。                    | 日常的にマニュアルや防災マップの整備、備蓄物の確保の確認を行う。防災係と地域住民と連携していく。                         | 6 か月       |            |
| 4        | 51   | コロナ禍により外出制限がかかり、日常的な外出もできていない。QOLの低下も招き、課題にあがる。                       | コロナ収束の折には元通り、それ以上のが異種支援を行う。                     | 家族や地域資源を活用する。近所にスーパーができるので、買い物レクに活用していく。                                 | 3 か月       |            |
| 5        |      |   |   |  | か月         |            |

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

## サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

## 【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

| 実施段階 |                    | 取り組んだ内容<br>(↓該当するものすべてに○印)  |
|------|--------------------|---|
| 1    | サービス評価の事前準備        | <input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った                      |
|      |                    | <input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した                                 |
|      |                    | <input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした              |
|      |                    | <input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した      |
|      |                    | <input type="radio"/> ⑤その他( )   |
| 2    | 自己評価の実施            | <input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した                                     |
|      |                    | <input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った                |
|      |                    | <input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った    |
|      |                    | <input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った         |
|      |                    | <input type="radio"/> ⑤その他( )   |
| 3    | 外部評価(訪問調査当日)       | <input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった             |
|      |                    | <input type="radio"/> ②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた                    |
|      |                    | <input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た |
|      |                    | <input type="radio"/> ④その他( )   |
| 4    | 評価結果(自己評価、外部評価)の公開 | <input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った                          |
|      |                    | <input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った                       |
|      |                    | <input type="radio"/> ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)                   |
|      |                    | <input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った                      |
|      |                    | <input type="radio"/> ⑤その他( )   |
| 5    | サービス評価の活用          | <input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した               |
|      |                    | <input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)      |
|      |                    | <input type="radio"/> ③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)                         |
|      |                    | <input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)                    |
|      |                    | <input type="radio"/> ⑤その他( )   |